

数学

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

<p>解答形式 ①は小問集合で客観式。②、③、④は記述式。</p> <p>分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化） 昨年と比べると極端に解きづらい問題はなくなったが、それでもまだ全体としては難しい。</p> <p>出題の特徴 ①の小問の中に難題があることが多い。典型的なパターンだけでは解けない問題も出題される。</p> <p>その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など） 複素数平面の問題は出題されなかったが、数学Ⅲの割合が高い。</p>
--

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
① (1)	確率	数学A	くじ引きで当たる確率。	やや易
	(2)	空間ベクトル	球面の内部から出て球面で反射した光の行き先。	やや難
	(3)	微分・積分	接線、回転体の体積。標準的な問題。	やや易
	(4)	微分・積分	ある積分の値が常に一定であるような関数の決定。	やや難
②	微分	数学Ⅲ	半径1の円に外接する二等辺三角形の等しい辺の長さの最小。	標準
③	式と曲線	数学Ⅲ	楕円を縮小しながら次々につなげていく問題。すべての楕円の和集合の面積を求める。	やや難
	数列	数学B		
	積分	数学Ⅲ		
	極限	数学Ⅲ		
④	微分	数学Ⅲ	曲線の一部を原点中心に回転させた通過領域の面積。(1)では曲線上の点と原点との距離の最大値を求めているが、(2)では最小値も必要。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>易しい計算問題も出題されるが、思考力や計算力を問われる標準以上の問題が多い。標準的な問題集をしっかり学習するのももちろん、過去問を参考にして、難易度の高い問題にも積極的に取り組むようにしましょう。</p> <p>①の小問集合に難しい問題が出題されることも多く、題意を的確に判断して要領よく答にたどり着くようにしたい。②のような典型的な問題は確実に完答するようにしたい。③のような、思考力やアイデアが必要な問題は、なかなか試験時間内で完答するのは難しいが、このような問題を学習する際に時間をかけてじっくりと色々な方法を考えてみる習慣をつけるとよい。</p>
--